



千葉市立誉田中学校 学校だより

誉田のかぜ

学校だよりはHPに掲載します

第1号

令和8年4月13日発行

千葉市立誉田中学校

TEL291-0012

※この便りについては、目的外使用を固く禁じております

◆令和8年度の初めに◆

春のやわらかな日差しとともに、4月8日(水)に始業式を、4月9日(木)に第80回の入学式を挙行了しました。211名の新入生を迎え、全校生徒616名で、令和8年度がスタートです。教職員一同、今年度も一人一人に丁寧に向き合い、安心して過ごせる学びの場づくりに取り組んでまいります。

年度のはじまりは、希望と同時に、不安や戸惑いも入り混じる時期です。だからこそ、生徒の皆さんの小さな変化にも丁寧に目を向け、寄り添いながら日々を積み重ねていくことが大切だと考えています。

4月9日(木)に教育相談アンケート、5月に悩み調査を実施します。また、いつでも担任や学年職員をはじめとした、養護教諭や管理職、スクールカウンセラーなどのすべての教職員が相談窓口となり、生徒の皆さんや保護者の皆様の相談に真摯に対応して参ります。

一人一人が自分らしく輝き、学び合い、支え合える学校づくりに保護者、地域、関係者の皆様とともに取り組んでまいりたいと思っております。本年度もよろしくお願いいたします。

令和8年度 前期始業式 校長講話「四つの心」(一部抜粋)

…1つ目は、「チャレンジする心」。変化の多い時代において、失敗を恐れずに一步を踏み出す勇気が大切であること。

2つ目は、「気づく心」。自分の外側と内側、両方に目を向ける力となります。友人のさりげない変化や、誰かの努力、自分自身の感情の揺れに気づくこと。目に見えるものだけでなく、見えにくいものにも心を寄せられる人になってほしいと願っています。

そして、3つ目は、「対話を大切にすること」。対話とは、単なる会話ではなく、相手の言葉に真摯に耳を傾け、自分の考えを丁寧に伝え合うことです。異なる意見や価値観に触れたときに、相手を理解しようとする姿勢、そして理解してもらう努力。それが、よりよい人間関係、ひいてはよりよい社会を築いていく礎となります。

今年度は「心」を1つ追加して、皆さんには学校生活に臨んでほしいと思っています。それは、「慮る(おもんばかる)心」。「慮る心」とは、相手や状況を深く考え、その気持ちや事情を思いやる心、姿勢となります。相手が置かれた立場や感情、背景を想像しながら、「どうすれば相手がより良い状態になれるか」を考える姿勢です。

皆さん、一人一人が自分や周りの人の様々なことに「気づき」、「対話を大切に」にして学校生活を送り、「慮る心」で仲間や先生方と過ごし、日々の授業はもちろん、様々な学校行事や生徒会活動、部活動などに「チャレンジ」していくことで、学校はとて素敵な場所になるのではないのでしょうか。

1日、1週間は長く感じても、1年はあっという間に過ぎていきます。この先の1年が、皆さんにとって、今の自分自身を超えていく1年となることを、心から願っています。

◆各学年代表生徒の言葉◆

4月8日（水）始業式において、2、3年の代表生徒が抱負を語りました。

最初に、もうすぐで私たちにとって初めての後輩が入学してきます。先輩としての自覚をもち、正しい判断をし、そして二分前着席や家庭学習の提出など、当たり前のこともしっかりとできる先輩になれるようにしていきましょう。

私たち2年生が1年生の頃の反省として良かった点は、1つ1つ行事に積極的に取り組むことができていたところです。体育大会では日々リレーや長縄の練習に取り組み、本番では全力を尽くすことができました。校外学習では1人1人が自分の係の役割に責任をもって取り組み、当日楽しく活動することができました。合唱コンクールでは音楽の時間や放課後の練習で1人1人が声を出して練習し、本番ではホール全体に響き渡る合唱にすることができました。3年生を送る会では、3年生に感動を伝えるために、劇、装飾、招待状の作成、1年全体で歌う合唱の練習などを日々頑張ってきました。このようなことから、私は行事に積極的に取り組んでいたなと思いました。ですが、良くなかった点として、気が緩むことがあり、そのために授業評価が良くなかったり、家庭学習の提出率が悪くなってしまったりということがありました。これからは、2年生として当たり前のことをしっかりとやり、1年生のお手本となれるように頑張っていきたいと思います。また、2年生になると部長や委員長に挑戦する人がいると思います。しっかりと3年生を支えられるような2年生になりたいです。

2 学年代表生徒

私たち3年生が、今年度頑張っていきたいことはメリハリをつけることです。普段できていること、できていないことを言われずとも自分でわかるようにし、当たり前のことを当たり前に行うようにしていきたいです。普段の生活ではもちろん、校外での活動などで誉田中の顔としてふさわしい行動をしていきたいです。

春休み前の学年集会で、先生がおっしゃっていた通り、これから全ての行事に「最後の」という言葉がつきます。時間はあっという間に過ぎていってしまいます。残り少ない時間の中、「最後の」という言葉がついても後悔のないような行動で過ごしていきたいと思います。

3 学年代表生徒

◆保健体育の授業について◆

今年度より、本校では保健体育の授業を、これまでの男女別を基本とした形から見直し、男女と一緒に学ぶ「男女共習」を取り入れて実施します。これまで保健体育では、男女別で授業を行っていましたが、これからの社会においては、性別にかかわらず互いを理解し、尊重しながら協働していく力が一層求められています。文部科学省の学習指導要領においても、そのような資質・能力の育成が重視されています。

そのため、本校では、運動や活動の特性に応じて男女と一緒に学ぶ場面を設け、互いの違いやよさを認め合いながら学ぶ機会を大切にします。

一方で、競技の特性や安全面への配慮、また保健分野など学習内容によっては、これまで通り男女別で授業を行うことが適切な場合もあります。その際は、従来と同様に分けて実施し、生徒が安心して学べる環境を確保します。

今後も、生徒一人一人の心身の発達段階や状況に応じた丁寧な指導に努めてまいります。保護者の皆様の御理解・御協力をお願いします。